

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 1 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104898		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・高陽		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南七丁目10番20号 (電話) ① (082) 841-5670 ② (082) 845-2050		
自己評価作成日	平成27年12月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104898-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104898-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年1月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気の中で、明るく、楽しく、笑って過ごしてもらえそうな、入居者一人ひとりの思いを尊重したのびのびと穏やかな生活づくり（高陽①） 家庭的な雰囲気の中で、一日一日を穏やかに過ごしてもらえように、入居者一人ひとりの生活を大切に、ご家族にも安心して利用していただけるホーム作り（高陽②）</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>四季を感じる場所と敷地内には、テラスがあり、快適な住環境である。事業所の目標に基づいて日々実践が為されている。地域との関わりを大切にし、近隣での催し物や地域行事、季節に応じた外出を柔軟にされている。利用者の希望（外食・外出など）があれば、叶える取り組みを目指し、利用者に寄り添いながら個別ケアの徹底を図っている。食事は3食手作りとし、一緒に食事をするよう努めている。本人にとって無理のないサービスを心がけ、事前に体験入居（2泊3日程度）して頂き、お互いが納得したうえで利用して頂く取り組みをしている。かかりつけ医との連携により、24時間相談できる体制が整っているのも利用者および家族にとって安心に繋がっている。今後は、運営推進会議の参加メンバーを増やす取り組みを行い、他の事業所との交流をより深め、更なるサービスの質の向上に力を入れていきたいと考えている。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>理念を掲げ、入居者の意向を聞き、尊重しながら、地域行事等に参加するなどして、その人らしい生活の実現に向けて日々努力している。</p>	<p>本社の理念を活かし、職員間で話し合いを行い、理念に沿った目標をつくりあげている。日々実践することにより、全員で共有している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>運営推進会議などでの情報交換しており、地域の祭りや行事、地域清掃の案内を受け参加している。日常的には近くの畑の方、散歩途中に会った方と挨拶を交わし何気ない会話をし、また避難訓練への参加など、無理なく少しずつ取り組んでいる状況である。</p>	<p>地域住民の理解が不可欠なため、町内会への加入により、地域情報を得ている。町内行事（秋祭り）の際には、子供神輿がホームまで来られ、地域と利用者の交流が図られている。職員も町内清掃などを手伝い、地域との関わりを密にしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域の方への働きかけは、なかなか出来ていない状況であるが、スタッフの教育などを通して、ご家族、他の来訪者には、常に認知症について理解をしていただける姿勢で対応している。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>出席された民生委員、地域包括支援センター、市役所の方より、他事業者の状況や近隣の高齢者及び地域状況の変化その他の意見・助言を伺い、サービス向上に活かしている。地域の方には避難訓練に参加されたり、見学をされたりといったこともみられている。</p>	<p>出席メンバーとの信頼関係が構築されている。現状を報告するなかで、相談・検討を行い、それらの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>利用者及び家族が不参加の状況である。今後の取り組みとして、①参加しやすい開催日時の固定化。②議事録を家族へ送付し、家族が参加できる行事案内や会議の目的を説明、抽出方法の仕方（アンケートや来訪時に意見を聴く方法など）に工夫し、それらの意見を踏まえた取り組みを望みます。</p>
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の時に入居状況をお伝えし、幅広い受入れを目指す取り組みをしている。</p>	<p>利用相談やサービス調整について連携を図っている。必要時には電話連絡などで相談し、より良い協力が得られるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>鍵の施錠は、入居者の状況をみながら可能な範囲で外している。その他、身体拘束以外で、虐待についても研修を実施している。</p>	<p>安全対策として、玄関はオートロック扉としている。身体拘束をするケースは、今のところ無い状況である。利用前に身体拘束されていたケースも職員間で話し合い、身体拘束を解除されたこともある。内部研修を通して、確認し合い、身体拘束をしないケアを目指して取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年1回の研修以外にも、スタッフの日常的な入居者への関わり、声かけなどが無意識に精神的虐待になっていることがないように、適時に注意を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度について学ぶ機会は作っていないが、内部研修でおおよそ権利擁護について学ぶ機会をもつことができた。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、ご家族やご本人の不安や疑問を解消するよう、希望、質問などにお答えし、解約時も同様に、安心に繋がる説明をするよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に、ご意見、要望、苦情などの窓口の設定状況など説明を行っている。また、面会時や、ケアプランの更新の際にも要望等について何うようにし、本社よりアンケートも実施している。</p>	<p>個々の要望などについては、叶える取り組みをしている。意見・要望など直接言いにくいこともあり、本社より家族対象に、年1回「アンケート」を実施している。寄せられた要望や意見については誠意を持って対応し、信頼関係を築くように心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議の際や日常の生活場面での、面接の形で、会社への要望、業務への要望を聞いている。</p>	<p>申し送りやスタッフ会議などで利用者のケアについて話し合いを行っている。必要に応じて個別面談を実施し、管理者は、職員一人ひとりの力量を把握し、働きやすい職場環境の充実に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談にて、職員個々の意見を聞く機会を設け、その意見を上司の来訪時などの際に、直接相談し、また要望として挙げている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの教育システムは出来ていないが、外部研修などでスタッフの希望、必要性を考慮し、対応している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他事業所との交流や意見交換ができるよう、内部研修、勉強会等に無理のない範囲での参加を促している。研修など参加した際には、報告も行っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際には、本人の状態変化を考慮しながら、できるだけ本人から意向を伺い、可能なかぎり、プランへ反映している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際には、家族からの状況説明、優先すべき要望を聞き、本人のニーズと照らし合わせながら、可能な限り反映している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の事前調査により、どのような経過で何を望んでホームへ入居になったか、また入居後はどのような対応を希望されるのかを伺うようにし、事前調査表を作成し、スタッフに情報を提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>生活行為（掃除、洗濯、調理）にできるだけ関わってもらおう、また無理な方はその身体能力のできる範囲の作業等を考慮しながら行っている。個々の状態に合わせ、共助の関係を尊重し、無理のない声掛けをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や外出など、頻繁に来られる家族もいるが、面会などにもなかなか来られない家族もおられる。ホーム、家族が共にという面ではまちまちであるが、それぞれの家族事情を考慮し、出来る範囲で無理のない関係性を維持している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会などの制限はなく可能な範囲で、そういった機会を提供できるよう、家族にもお願いしている。家族の方との外出や面会などの際も相談の上、対応できている。</p>	<p>家族の協力を頂き、外出・外食をされている。敬老会への参加や友人・知人などの訪問もみられ、以前からの関係の継続に配慮がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者それぞれの性格を把握した上で、それぞれの関係を観察しながら、場合によっては調整し、出来るだけ個々に適した環境設定を心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居の際には、何か相談があればいつでも対応しますとお伝えし、安心のある変わらない関係性を継続させている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	訴えのできる方には可能なかぎり本人本意で、そうでない方には本人本意に思いを汲み取りながら、意向に即した対応を心がけている。	本人の希望（食事、野球観戦、美術館など）を叶える取り組みがなされている。日々の関わりのなかで、楽しみごとやその人らしく暮らせることに心掛けた支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前調査の情報、ご家族との話し合いの中から、また本人との会話から知り得た情報を会議などで共有し、スタッフ同士役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	アセスメントにより、ある程度は把握できているが、常に変化をしていくものなので申し送り、会議にて共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的なカンファレンスの実施は行っていないが、状態の悪化（入退院）などの際はご家族に改めて希望、意向をお伺いし、プランを作成、同意を得ている。その他、更新の際は面会時などで意向をお伺いし、介護スタッフの意見も聞きながら、プランを作成している。</p>	<p>“自分の思いで楽しく生活できるように”介護計画を作成及び実施をしている。特に入・退院時などは、状態変化があるため、本人の状況を把握しながら、家族に意向を聴いてプランの作成を見直している。</p>	<p>細目に亘るカンファレンスを行い、情報共有する必要がある。今後の取り組みとして、①介護計画の目的を内部研修で行い、全職員が前向きに取り組む。②担当職員と計画作成者が共同でアセスメント（状態把握）を行い、本人の状況に合わせた介護計画の作成及び現状に即しての見直しなどの取り組みを望みます。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子、変化については、個別記録、申し送りへ記載し、対応を統一できるよう情報を共有している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>歯科往診、歌のボランティア、傾聴ボランティアなどのサービスを導入している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事などへの参加、近隣で畑作りをしている方との会話、収穫体験などを行っている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>常時、本人の状態が把握できているため、対応がスムーズに行える利点から、協力医療機関（内科）への主治医変更をお願いしているが、家族の希望であれば従前からの主治医で受診している。</p>	<p>大半の利用者がホームの協力医を主治医としている。24時間相談できる体制と主治医の応診が月2回あり、一人ひとりの健康チェックをしている。訪問歯科など、定期的な診療を含め、必要時には適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>2週1回の訪問看護の際に、各ユニットの入居者の状態、対応について相談するようにしている。また内科往診の際にも看護師が同席し、情報の共有を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはサマリーにより情報提供を行い、早期の退院等の受け入れも可能な範囲で行っている。また、長期入院後の退院の際は病院関係者との打ち合わせも行い、適切な対応が受けられるよう配慮している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時の説明、またその都度、状態の変化があった際に、協力医と相談しながら、今後の方針を家族と一緒に考えるようにし、電話などでも細かく連絡を行っている。</p>	<p>利用時に「医療的な対応・看取りに関する指針」に準じ、最大限可能な支援について、家族への説明、話し合いを十分に行っている。重度化やターミナルケアに向かう事例が出た場合には、その都度関係者と協議を重ね、チームとしての取り組み体制が整っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救急講習は全スタッフが受講し、適切な連携をどうとるかなど、対応に備えている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、避難訓練を実施している。うち1回は、近隣住民の方と夜間を想定した合同避難訓練を実施し、災害時には応援をいただくことをお願いしている。また、スタッフにも災害時の避難場所、連絡網、持ち出し物、マニュアル等について周知している。</p>	<p>町内の協力（2～3人程度）を頂き、火災訓練を中心に防災訓練を実施している。近隣住民の緊急連絡網を作成されており、同グループ（6事業所）の応援・協力体制づくりが構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者一人一人の思いや、現在の状態、事情を把握したうえで、その方に合った個別の対応を心がけている。	グループ内での研修では、職員が講師となり、内部研修の充実、職員のスキルアップの向上を図っている。何か疑問などあれば、月1回の職員会議や毎日の申し送りなどで、普段から話し合う環境である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の訴えや希望を、可能な範囲で対応できるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分の思いを訴えることができる方については、希望を出された際にはできるだけ対応している。また、身体介助が多い方でも、なるべく笑顔が多く引き出せる関わりを心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	カットや髪染めなど、ご本人や家族と相談しながら、ご本人の意向を出来るだけ反映するようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生会のお寿司、季節感のあるパーベキュー、そうめん流し、またその日に食べたいと希望があり、対応できればそのようにしたり、調理、盛り付け、片付けも一緒に行っている。	3食手作りで提供されている。誕生日は、本人の希望を聴いて反映している。メニューは、近所からの差し入れや冷蔵庫の食材を見て決めている。職員も利用者と一緒にテーブルを囲み、和やかな食卓になるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、量など状況をみながら提供している、また状態、個々の習慣、嗜好も配慮し、提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは義歯の方も含めて基本的には毎食後に実施し、歯科往診も必要な方には受けて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>随時、また定時の排泄誘導を前後の排泄状態を、考慮しながら行っている。また昼夜のバットなども状況によって変更し、使用の減少に配慮している。</p>	<p>トイレは、1ユニット（定員9名）に3箇所あり、必要時は居室内にポータブルトイレを設置している。布パンツ使用の方は半数おられ、安易なオムツ使用は極力さけるように、自立支援に向けた取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>乳製品や水分、日々の献立、また随時内科医に相談するなど、できるだけ便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴のタイミングや時間など配慮はしている。順番など希望を聞いて、少しでも楽しみにつなげている。</p>	<p>2日に1回の入浴を行い、清潔保持に努めている。今までの生活習慣の事もあり、なるべく夜間に近づけた夕方（14：00～17：00）入浴を実施し、一人ひとりの希望やペースに応じた柔軟な対応がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>皮膚の状態や室温、排泄など、それぞれの睡眠状況に配慮し、適宜に臥床時間を工夫をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬状況がわかるようファイルに閉じ、スタッフがいつでも確認できるようにしている。また、服薬の変更、その後の状態の変化についての観察を申し送りにて伝えている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>気分転換の外気浴、外出やイベント、洗濯物たたみ、食器洗いなど、入居者に合わせた対応をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員の勤務体制から、その日に対応できないことも多いが、季節の花見、紅葉狩りなど、会議の際に検討し、機会を設けて対応している。家族へも希望があれば面会の際にお伝えしている。</p>	<p>個々の要望を叶える取り組みや、季節毎の外出企画（初詣・紅葉狩りなど）により、楽しみを増やす取り組みをしている。家族の協力で、野球観戦や旅行、外食とされることもある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的には所持されていないが、金銭に対する思いが強い方や家族の希望があれば、小銭程度はいつでも引き出し可能な預かりとしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族への連絡を希望される方は、電話、ハガキを使い、連絡(電話)が入った際には希望があれば、ご本人と変わってお話をしてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁画や季節の飾りなど、季節ごとに変化させている。またその他の環境面等もシンプルで落ち着いた色調にしている。</p>	<p>季節毎の飾りものを一緒に作り、壁面などに飾っている。リビングの一角には畳スペースが設けられており、くつろぐ空間が確保されている。利用者個々の能力に応じて、洗濯物を畳んだり、干したり、一緒に掃除などを行いホーム内は清潔である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自分の席やソファなど、各自一人で過ごせる場所は確保できている。人間関係を配慮し、なるべくストレスの少ない配置にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>基本的には持ち込みの制限はなく、安らぎのため馴染みのものを置くなど、自由に使用していただいている。</p>	<p>車いす使用の方でも十分なスペースが確保されている。ベッド、エアコン、カーテン以外は、自由に持ち込み可能である。本社手作りの家具(ベッド、椅子など)が身体状況に応じて配置されている。利用者の状況により、安心して居心地良く生活できるような環境調整に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>福祉用具など必要に応じ調達し、生活し易い環境を整えている。今後も必要に応じていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>理念を掲げ、入居者の意向、その人らしい生活に近づけるように日々、努力し、地域行事(清掃活動、祭り、行事)などへの参加も可能な範囲行っている</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>地域行事への参加者は限定的な方にはなっているが、スタッフは地域清掃などにも参加させて頂いたり、日常の挨拶、会話などをする近隣の方も増えている</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域への発信は乏しいが、利用者家族など面会などの会話の際には認知症の対応等お伝えしている</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>出席された民生委員、地域包括支援センター、市役所の方より、他事業者の状況やその他の意見・助言を伺い、サービスに反映できる事は取り入れている。地域の方は避難訓練の際には参加されたり、見学をされたりといった事も見られている</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の時には入退居状況、困難事例など相談し助言等頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	施錠の開放、身体拘束など行わないケアを実践している		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	年1回の講習、日ごろの入居者とのかわり特に精神的な虐待には注意し注意を促している		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	現在成年後見人制度についての学ぶ機会を作っていないが、入居者の中でも利用される方も増えており学習の機会については検討したい		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には、ご家族へ十分な説明を行い、ご希望、質問などにもお答えしている。また、改定事項は文書にて通知、都度質問等あれば対応している		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	契約時にご意見、要望、苦情などの窓口の設定状況など説明を行っている。また、面会時やケアプランの更新の際にも要望等について伺うようにしたり、本社よりアンケートも実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>リーダー職を配置しスタッフの要望や意見等を聞き入れる機会を設け、対応可能な範囲で改善している</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格の更新、勤続年数によって給与の反映はされている</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの教育システムは確立していないが、法人内の研修会への参加、スタッフの希望や必要性を考慮し外部研修への参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>内部研修など実施し同グループ内での交流、情報交換の機会は増えている</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人、家族等に要望を聞き、できる範囲で施設、家族と協力しながら対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際には、家族へも状況の説明、要望を聞き、できる事、できない事は伝えし理解していただいている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前にニーズを把握し、まずは一番必要な部分から対応し徐々に質が高まるよう対応範囲を増やすようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>可能な範囲、生活動作への参加を促しているが、重度化に伴い共に行う事が出来る方は限定されてきている</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族と本人で野球観戦や旅行、外食ををされたりと家族にも協力してもらえらる事をお願いしている。また、それらを行いやすいよう連絡、外出中の助言なども行っている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方の面会等がある際は場所の提供など可能な範囲、協力させていただいている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>ご本人の性格等も考慮し関係が維持できるような生活環境を考慮し実施している</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居後もご本人が次の施設等が見つかるまで紹介をしたり、相談を受けたりと対応している</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>ご本人の様子や行動をみながら、それぞれの生活時間に合わせて対応している。困難な場合は身体状況、訴えをみながら家族とも相談し対応している</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>事前に知り得た情報は入居前に共有できるように書面等で周知している、また、その後知り得た情報も会議等で共有している</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>ご本人の状況に合わせ随時、環境、生活の送り方も検討、変更している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的なカンファレンスの実施は行っていないが、状態の悪化（入退院）などの際はご家族に改めて希望、意向をお伺いしプランを作成、同意を得ている。その他、更新の際は面会時など意向をお伺いし、介護スタッフの意見も聞きながらプランを作成している</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の変化、対応など申し送りを活用し対応している、また計画作成にも現在の状態、対応も含め検討している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>歯科往診、訪問リハビリ、傾聴ボランティア等も取り入れている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご本人様の現在の状況、家庭環境等も考慮しお互いが協力しながら対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居の際、協力医療機関への主治医の変更をお願いしているが、家族の希望があればそのままの主治医で対応している。また、緊急時の受け入れ希望など主治医に伝え可能な範囲反映している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>月2回の訪問ではあるが状況を伝え助言も頂いている。また、協力医の看護とも相談を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはサマリーにより情報提供を行い、早期の退院等の受け入れも可能な範囲行っている、また、長期入院後の退院の際は病院関係者との打ち合わせも行い適切な対応が受けれるよう配慮している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時の説明、またその都度、状態の変化があった際に協力医と相談しながら今後の方針を家族と一緒に考えるようにし、電話などでも細かく連絡を行っている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救急講習会も内部研修で実施している、今後も継続したい</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。うち1回は、近隣住民の方との合同避難訓練を実施し、災害時には応援をいただくをお願いしている。またスタッフにも災害時の避難場所、連絡網、持ち出し物、マニュアル等について、周知している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者それぞれのかかわり方など日々の経験から得たものも活かして対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の訴えや希望を可能な範囲で対応できるよう心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分の思いを訴えることができる方については、希望を出された際にはできるだけ対応している。また、身体的な介助が多い方でも、なるべく負担なく、普通の生活を行えるよう配慮している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	カットや髪染め、衣類に関しても、以前からの本人や家族の意向を反映している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々のかかわりから得た希望を取り入れたり準備、片付けもできる範囲、一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、量など状況をみながら提供している。また、個々の習慣、嗜好も配慮し提供している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは1日4回実施し、歯科往診も必要な方には受けて頂いている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>随時、また定時の排泄誘導を前後の排泄状態を考慮しながら行っている。またパットなども状況によって変更している。また、なるべく排泄用品も使わないよう検討している</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>乳製品や水分の摂取、体操など、できるだけ便秘予防に努めている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体制的に夜間浴など難しい所はあるが、順番など本人様と相談し決めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	特に夜間は、柔軟性を持ってか かわり、安心していただけるよ う臨機応変に対処している		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	服薬状況がわかるようファイル に閉じスタッフがいつでも確認 できるようにしている。また、 服薬の変更、その後の状態の 変化の観察を申し送りにて伝 え、ドクターとも連携して対 応している		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	日常の会話や、家族との会話 の中から得た情報を活かし、 楽しめることも模索しながら 行っている		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	全ての思いに当日、配慮でき ないが体制的に可能であれば 、ドライブや散歩、家族と相 談し自宅へ戻ったりといった 事は行っている		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	基本的には所持されていない が、金銭に対する思いが強い 方などは持って頂き、精神的 に安定していただけるよう 配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族への連絡はしていただいている。困難な方は面会の際に日常の会話、エピソード、思いなども伝えるようにしている</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁画や季節の飾りなど環境を変化させている。またその他の環境面等もシンプルにわかりやすくしている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペース以外にも自由に使える和室なども用意し思うように動いていただけるよう配慮している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族へもなるべくご本人にとって馴染みのある物を持ってきていただくようお願いし、それらを含め使いやすい配置も行っている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご本人の状態を考慮し自分で生活動作を思うように行えるよう配慮している</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ・高陽①

作成日 平成28年3月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を上手く活用出来ていない	家族を取り込んでの一体的な会議の運営ができる	面会時を利用して会議での内容等を報告し理解をしてもらいながら参加を促す	1年
2	26	ケアプラン作成が多職種での作業になっていない	計画作成担当者のみではなくDr.を始め出来るだけ複数の意見を取り入れたものにする	まずは本人との面接、スタッフ、家族参加のカンファレンスを実施する	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ・高陽②

作成日 平成28年3月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の活用が出来ていない	施設、利用者、家族での基本構成ができるようになる	会議の構成員に家族を加え、施設、利用者(家族)が主体の会議としていく	1年
2	26	ケアプラン作成の際、他職種での共同作業が出来ていない	計画作成担当、介護スタッフ、家族、利用者を含めたカンファレンスが実施できる	計画作成担当、介護、家族、利用者でのカンファレンスを行う	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。